



お知らせ

クーリング・オフ制度を ご存じですか

最近、訪問販売が増えてきていますが、それに伴いトラブルの発生も多くなっていると思われまふ。このため、訪問販売法が改正され、消費者のための「クーリング・オフ」制度の充実などが図られました。

クーリング・オフ制度とは、訪問販売で買ったたり、契約したものを、「無条件」で解約できる制度です。ただし八日間以内でなければなりません。

たとえば、家族などのいない時に一人で購入契約したものを、後で家族に相談したら不要だということになった場合、このクーリング・オフを行うことができます。現金一括払で購入したもので、三、〇〇〇円以上ならこの制度で解約することができます。しかし、なによりもまずこうい

塞の神は 届け出を!

一月一五日には各地区で「塞の神」が行われます。

この塞の神は、多量の煙と炎が出ますので火災と間違えられる恐れがあります。このため消防署から、塞の神は届け出て欲しいとの依頼がありましたので、ご協力ください。

届け出用紙は、消防署山古志出張所に用意してあります。不明な点は消防署にお問い合わせください。(☎八三一三三二一)

除雪にご協力ください

今年から木籠、榎木間も除雪

例年どおり昨年二月一日に除雪隊が組織され、村内の除雪・圧雪体制が整えられています。今年から木籠と榎木の間の県道柏崎高浜堀之内線が除雪路線となりました。

除雪路線の総延長は三三・二kmと昨年より一・八km延長されました。午後五時以降も降雪状況を見ながら除雪を行う予定です。

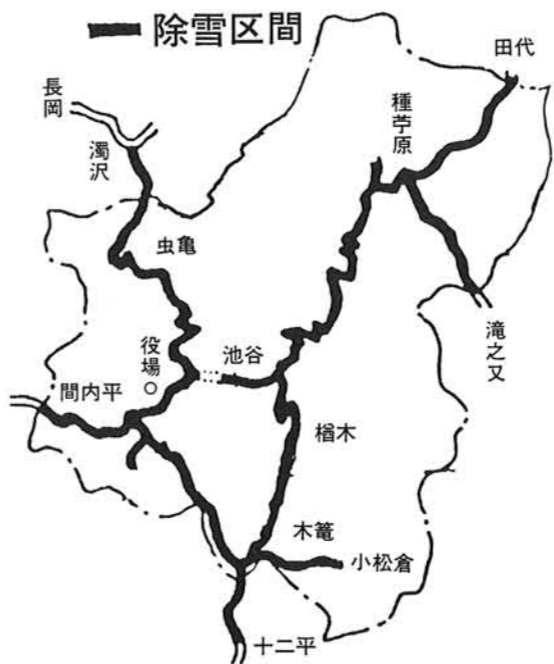
除雪をするのは村と大久保土建で、担当路線は村が種芋原、桂谷間と池谷、木籠間、大久保土建が竹沢、濁沢間、竹沢、間内平間、竹沢、木籠、小松倉、

十二平間、種芋原、田代、滝ノ又間を担当します。

除雪にご協力ください

▲路上駐車はしないでください。路上駐車は除雪の大きな障害となります。また、事故の原因ともなります。

▲道路に雪を捨てないでください。道路沿いの家の雪降しは、連絡をとり合い一斉に行ってください。必要により交通規制をいたします。玄関や車庫の雪はらひは、交通に支障のないようにお願いします。



今年巳年

今年 は巳年、すなわち蛇支のなかの唯一の爬虫類ですが、古くは恐竜、現代では亀やトカゲ、ワニなどの仲間です。

蛇と聞いただけで、嫌悪感をもよおす人もいますようですが、それは多分にあのグロテスクな姿のせいです。脚部の退化・消失してしまつた細長いからだ、S字型を書くようにくねくねと動く様子は、蛇独特のもので、

あの細長いからだ、内臓はどうなっているのだろうか……ご心配には及びません。内臓も体に合わせて細く伸びているほか、腎臓など本来は左右にあるべきものが、前後に位置を占めておさまっているそうです。

蛇は、古来、恐れられ排斥される一方で、崇拜と畏敬の対象でもありました。日本では、神のお使い、あるいは神そのものと思われていた様子が、古典や伝説、昔話に多く見られます。

例えば、池や沼の主を大蛇とみ、写真は四季の山古志写真コンテスト入賞作品です。撮影者は、長岡市の甲田晴章さんです。

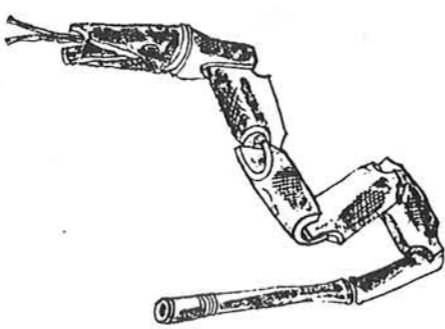
▲なだれが発生したら
なだれにより通行できない場合や、なだれの危険が予想されるとき、その他除雪に関する場合は次に連絡ください。

- ◎村除雪対策本部(役場建設課内) 電話(☎)二三三〇
- ◎県道除雪委託業者(大久保土建) 電話(☎)二二〇六
- ・大久保土建種芋原出張所 電話(☎)二三三八

国魚の祭典 全日本錦鯉 品評会

1月21・22日に一般公開

国魚の祭典と称され、日本全国の優秀な錦鯉を網羅したなかで、錦鯉日本一が決定される、全日本錦鯉品評会が開かれます。村内からも多数の出品・観覧をお願いします。第二一回目となる今年大会、会場は例年どおり東京・平和島の東京流通センター内です。期日は、一月二一〜二二日の土、日曜日二日間。時間は両日も午前九時から五時まで。入場は無料です。錦鯉の出品については、山古志漁協にご相談ください。(☎五九二〇四四)



て雨ごいをする風習は全国的にあるといわれます。また、白い蛇を家の神とする信仰も各地にみられます。

ところで、蛇は集団をつくらなといわれます。蟻などのような社会組織や集団生活の例は、まったく知られていないということですが、いつも「ひとり」で孤独な生活をしています。そのため、異性と出会う機会がたいへん困難だということなんです。ちょっとさびしい話ですね。

とこころで 蛇は、生きている間ずっと成長し続けます。発育にもなつて、古い皮は三か月一度定期的に脱ぎ捨てられ、新しいのを取り換えられる——脱皮です。お正月を機に今年こそは新しい試みをと、脱皮を心がけておられる方、うまくいくといいですね。

新年のごあいさつ

山古志村長 酒井省吾



雪の少ない冬が二年続いたあと、今年は大雪と報じられているが、これまでのところ思いのほかいい天候に恵まれ、ここに一九八九年の新年をむかえる事が出来た事を、村民の皆様方とともに心からおよろこびを申し上げます。昨年は牛肉やオレンジ、米の市場開放を迫られるなど農産物の自由化問題をはじめ、税制の改革、御在位六十三年に及ぶ天皇の御病氣、航空機や列車、船舶など事故の多発、地震、異常気象など、内外ともに波乱の多い年であったと思います。山古志村ではこれといった大きな事故もなく過してまいりましたが、十二月半ばになって東虫亀地域に地すべりが発生、農地や村道、農道、河川等に大きな被害がありました。幸い人身に及ぶ被害はありませんでした。特に降雪融雪時には地すべりが起き

易い私達の地域ですので、これからもお互い気をつけていただきたいと思います。長いこと低迷した景気の動向も、内需拡大政策や企業の経営努力などによって大変活況を呈して来ており、国の財政事情も好転しつつあることはよろこばしい事です。このような中で山古志村のこの一年の歩みも明るい方向を目指しております。「冬の生活をよりよくしたい」、こんなねがいから雪の上での第一回「古志の火まつり」は予想以上の成果をおさめる事が出来ました。また、リフトを持つた本格的なスキー場を、この要望にこたえて焼山にスキー場を造成、新年度のシーズンに合せてオープンしたいと思っております。生活路線バス種芋原濁沢間六往復が実現いたしました。今年はこの方式を梶金線にも取り入れたいと、いま検討が進められています。桂谷地区内に消防署の出張所庁舎が完成し、ここには常時警員と消防車、救急車が配備されており、村民の皆さんの尊い生命や財産を安全に守るための態勢がますます充実いたしました。更に生ゴミの収集業



書き初め

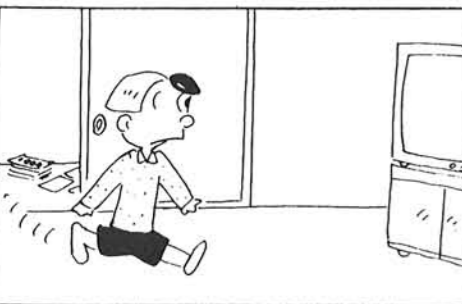
竹沢小学校 三年 高橋 敏仁
三年 高野 正道
三年 星野 雅支

▲右から竹沢小学校3年生の高橋敏仁くん、高野正道くん、星野雅支くんの作品です。



財政状況(62年度上半期・9月末現在)をお知らせします

さわやか君 西村 宗



一般会計 (単位:万円)

入			出		
科目	予算額	収入済額	科目	予算額	支出済額
村税	8,880	4,860	議会費	4,586	2,237
地方譲与税	2,000	505	総務費	29,105	9,695
利子割交付金	25	8	民生費	12,616	5,155
自動車取得税交付金	1,200	562	衛生費	7,554	3,534
地方交付税	99,123	44,156	労働費	29	1
分担金負担金	1,655	949	農林水産業費	20,661	3,723
使用料及び手数料	338	132	商工費	1,736	732
国庫支出金	10,551	842	土木費	23,673	5,176
県支出金	9,577	718	消費費	7,605	3,751
財産収入	1,693	858	教育費	26,324	9,356
寄付入金	0	0	災害復旧費	17,617	1,208
繰入金	7,852	4,166	公債費	26,630	13,036
繰越入金	2,534	2,534	諸支出金	0	0
繰越収入	6,222	1,079	予備費	94	0
村債	26,580	0			
合計	178,230	61,369	合計	178,230	57,604

特別会計 (単位:万円)

	国民健康保険	診療所	歯科診療所	老人保健
予算額	23,291	7,562	2,414	21,742
収入済額	8,571	3,451	1,264	9,171
支出済額	6,684	3,397	1,106	7,998

基金の現在高

財政調整基金	2億9,003万円	肉用牛特別導入事業基金	2,407万円
教育施設整備基金	1億8,731万円	郵便切手類購入基金	20万円
土地開発基金	4,181万円	国民健康保険給付準備基金	1億3,827万円
減債基金	1億47万円	国民健康保険事業運営準備基金	95万円
国民年金印紙購入基金	1,247万円	診療所事業運営準備基金	1,131万円

引っぱり風



「あつちからも、こつちからも、引っぱり風の人気者」などという「引っぱり風」は、方々から強く要望される状態を、風あげで争って糸を引っぱるさまにたとえていた表現です。

「お正月には風あげて、独楽をまわして遊びましょ」は、唱歌「お正月」の一節ですが、新年の風あげ風景も、都会ではあまり見られなくなりしました。

細い竹の骨に紙をはって糸をつけた風を引っぱると、風力で空高くあがりますが、安定をはかるためには長いしっぽが必要で、その格好が八本の腕(足)を持つ蛸に似ているところから「たこ」という名が付いたとされています。

「いか」、「いかのぼり」という地方があるのも、形が一〇本足の鳥賊に見えたためでしょう。

同じ「引っぱりだこ」でも「引っぱり蛸」は手足をひろげて作る鞘の干物の姿から、江戸時代には「引っぱり」の俗称として使われました。

「引っぱり風」と違って、この「引っぱり蛸」はうれしくありません。

地域にとけこんだ 消防をめざします 少しでも災害が減るよう 頑張ります

一月に開所した「小千谷地域消防署・山古志出張所」。現在、所長以下七人の署員の人たちが勤務しております。

勤務形態は、二班に分かれて三人づつで、朝八時三〇分から翌日の朝八時三〇分までの二四時間勤務です。そして一日休んで、また次の朝からの勤務となります。連続二四時間という長時間勤務と、その日になって急用がきたからといっても簡単に休めないというのがつらい、とみなさん話しておられました。

幸い、一二月末の開所以来一二月末まで、山古志村内には事故や急病人がなく、緊急出動はまだ一度もないそうです。

「地域にとけこんだ消防となって、山古志村から少しでも災害が減るように」と、皆さん頑張っておられます。「時間のある人は、お茶飲みに来て、情報を提供していただきたい」とのことです。

署員の人たちをご紹介します。
(敬称略)



所長 高野 護 (小千谷市、54歳)



副所長 篠田敏治 (小千谷市、43歳)



齊藤 伸治 (小千谷市、42歳)



三輪 哲士 (川口町、32歳)



広井 康秀 (小千谷市、23歳)



江島 秀一 (川口町、26歳)



久保田 守 (小千谷市、30歳)

特産品加工施設 稼働開始

さつそく

真鯉の新巻作り

一月に完成した特産品加工施設が、稼働を始めました。この施設は「特産品加工生産組合」(組合長・五十嵐英益さん・虫亀)が、村から管理委託を受けて経営するものです。

二月一七日に組員が集まり、今回が始めてという「真鯉の新巻」



組合長 五十嵐英益さん

作りに挑戦しました。火の気のない施設内で冷たそうでしたが、鱗をとったり洗ったりと、それぞれが手分けをして作業に励んでいました。また、この日は付近の婦人たちの応援を得て、「こくしよ」作りも行われていました。これは昔から慶事などの行事食として作られてきたもので、里芋、人参、ごぼう、こんにやくなどと鯉のガラをいっしょに煮込んだものです。この日作られたものは、主にゆ

▲作業をする組合員のみなさん



電気コタツを 上手に安全に

みなさまのご家庭でも、今ごろ電気メーターがフル回転になっていると思われませんか。

電気コタツには、マットを敷き大きめの掛フトンに毛布を併用すると、約一五%も電気の使用料が節約できます。温度は通温に調整し、留守する時や不使用時には、安全のため必ずスイッチを切りましょう。



1月の

納.税.保険料

- ★村・県民税(4期分)
- ★国民健康保険料(1月分)
- ★国民年金保険料(1月分)
- ★保育料(1月分)

きくに企画の募集した「ふるさと友の会」の会員に、正月用のふるさとの味として発送される予定です。

◆新・成人に贈る言葉◆

小さな目標を積み重ね より大きな目標へ



ソウル・オリンピックのあの瞬間、いまでも夢のような気がするんです。

「記録はいつでも出せるが、五輪は四年に一度しかない。とにかく勝つことだ！」と、それだけに目標をしばったことがようやく結実して、嬉しい。

一度の挫折からの再起

ぼくが水泳を始めたのは、小学二年のときでした。それまではまったくのかわい子だったぼくが、近所のスイミングスクールに通い始めたのですが、思うように泳げなくてまるで面白くありませんでした。

「瞬発力」こそ若さの証明

ソウル・オリンピック金メダリスト 鈴木 大地

ていったのです。

いまは身長一八〇センチですが、そのころのぼくは、名前からは裏腹に背が低く、友達から「チビ」と言われ、そんなコンプレックスもあって、すっかりくさってしまっていたのです。

二度目の挫折は一昨年、極度の疲労からくる腰痛で、二か月間、寝たきりの状態になったときです。百分の一秒を争っていた人間がまったく泳げなくなっていました。

極限状態に追い込む性格

一度決めたことは、何かなんでもやりぬこうと、心を奮い立たせたのです。

成人式を迎えられたみなさんに、ぼくが言えることがあります。大きな目標を掲げたほうがいいということ。そしてその目標を達成するために、その過程で小さな目標をいくつかつくり、それをひとつずつ

木さんは、高校三年のとき以来、自己のもつ日本新記録を更新し続けており、ソウル・オリンピックでも55秒05の日本新記録で優勝しました。その姿は、皆さんの記憶にも新しいことでしょう。

げなくなっていました。たわけてすから、それはたいへんな衝撃でした。ソウル・オリンピックで優勝！という目標がポイントかすんで、再起不能な自分の姿が頭をよぎりました。「これくらいでくじけるなら、水泳はやめちまえ」、鈴木コーチからそう言われ、

つ完遂していくことで、大きな目標に一步步近づいていく挑戦精神がいちばん大切だと思います。

そして、もうひとつ大事なことは、その目標を達成するために、ここだというときにワツと瞬発力を発揮させられるかどうかだと思います。ぼくは、ラップを吹いて自分をギリギリの極限状態に追い込まないとうまくいかない性格なのですが、やはり、ここだというときのパネが若さであり、生きていくエネルギーではないでしょうか。

子供のころは、二十歳という、へえー、すごい大人だなあ」と思いましたが、いま二十歳を過ぎて感じるのは、まだまだ幼いなあという気持ちです。でも、成人となったからには自分のやることぐらいいは責任をもち、常に目標に向かって邁進あるのみです。ご成人、おめでとうござい

●鈴木大地(すずき・だいち)さん略歴●

昭和42年3月10日生まれ。21歳。小学校2年から水泳を始める。中学校1年のとき、現在の鈴木陽二コーチと出会い、本格的に競泳に取り組む。高校3年のとき、ロサンゼルス・オリンピック最終選考会の100メートル背泳ぎで、日本新記録を樹立し、日

本水泳界のホープとなる。その後のロス五輪やユニバーシアード大会などで、自己記録を次々と塗りかえる。昨年9月に開催されたソウル・オリンピックの100メートル背泳ぎでは、「バサロ泳法」で見事に金メダルを獲得。一躍「世界の大地」となる。現在、順天堂大学体育学部体育学科4年生。

池谷小学校でも 県教育長・優秀賞



先月号で種彦原中学校の坂牧君の科学研究が、県教育長優秀賞を受賞したことを紹介しましたが、池谷小学校でも児童三人による科学研究が、同賞を受賞しました。研究の題名は「ひょうたんのつる」。四年生の平田真紀子さん(英二さん方)、青木忍さん(尊男さん方)、畔上郁恵さん(完二さん方)の三人による共同研究で、指導されたのは齊藤裕美教諭です。研究を始めたきっかけは、校舎前に植えてあったひょうたんを見て、「そのつるがどれくらい重いのか」と、畔上郁恵さん、青木忍さん、平田真紀子さん

「身近な山古志村の自然のできごとを調べたのと、調べ方がみんなにわかりやすかったことが評価されたでしょう」と、校長先生は話しておられました。「これからも、児童一人一人の自然を見る目をみがき、みんなで助け合って学習をすすめたいと願っています」とも話しておられました。

ア展で池谷小学校二年生の齊藤豊君が、八つの頭の大きなへび、やまたのおろちの絵で奨励賞を受賞しました。

以下、池谷小学校だよりより

奨励賞をもらったこと

二年 齊藤 豊

ぼくは、やまたのおろちの絵をかきました。

先生から話を聞いてやまたのおろちをやつつける途中の絵をかきました。工夫したところは、頭を大きくかいたところです。それからクレヨンの色をいっぱい使いました。

きのう「ジュニア展で賞をもらったよ」と先生がいました。ぼくは嬉しかったです。家に帰ってみんなにおしえました。おばあちゃんも、「すごいね」といいました。それで僕が新聞を開いて見せました。ジュニアを飲んでお祝いしました。ぼくはほんとうにもうえるのかなあ、と心の中で思いました。



齊藤 豊くん

農業者年金受給者の皆さんにお願

皆さんの近くに「農業者年金に加入できるのに加入していない人」はいませんか。

現在、農業者年金を受けている皆さんは、農業者年金が次のようにいかに有利な年金であるかを存じのことでしょう。

①年金額が、物価スライド制であること。

②五割という高率の国庫補助があること。

③事務費が全額国庫負担であること。

そこで、ぜひ皆さん方から、農業者年金の未加入者の方々の今後の生活安定、農業者年金の長期安定、さらには農業・農村の発展のために、未加入者の方々へ加入されるよう呼びかけてください。

願書の提出は、(定時制、昭和六四年二月八日から二月一五日まで。通信制、昭和六四年二月二〇日から四月一〇日まで)です。

●生徒募集をしている学校

船江、西新発田、新発田南、五泉、長岡西、長岡工業、栃尾、三条、燕工業、小千谷、小出、六日町、十日町、柏崎、高田南、市立高志、市立明鏡(以上定時制)

新潟、高田南(通信制)

※お問い合わせは、〒950新潟市新光町四―一 新潟県教育庁高等学校教育課(☎〇二五―二八五―五五一、内線三八八二)へどうぞ。

法務局の休日が変わりました

登記関係等由山古志村に關係のある法務局は、「新潟地方法務局長岡支局と同小千谷出張所」ですが、一月一日からこれら法務局の休日が変更になります。

日曜日や祝日の休日は以前と同じですが、変更後は毎月の第二と第四土曜日も休日となります。ご利用される人はご注意ください。

高等学校 定時制・通信制 生徒募集



まんりょう

適正申告で公平課税

脱税は社会、公共の敵



納税を行っています。申告しなければならぬのに申告しなかったり、誤った申告をしたり、あるいは故意に過少な申告をする納税者も見受けられます。

そのため、国税局や税務署では的確な調査を行い、申告に誤りや不正がある場合には正しい申告に改めてもらっています。

また、特に悪質で大口な脱税者に対しては、不足している税金を納めさせるだけでなく、刑事罰をも科すことを目的とした査察調査を行っています。

査察調査とは、悪質で大口な脱税をしている疑いのある者に対し、

犯罪捜査に準じた方法で行われる特別な調査です。

脱税者がいかに巧妙に脱税を企てても、国税査察官の精密で系統だった調査により必ずその脱税は発見されます。これにより、刑事事件として検察官に告発され、裁判で有罪になると、本税や重加算税、延滞税を納めるばかりでなく、



脱税者

支払調書の提出は 一月三十一日までに

給料、報酬、料金、利子、配当などの支払者は、支払先の住所氏名、支払金額などを記載した書類(支払調書といふ)を税務署に提出することになっています。この支払調書は、その年中の支払分を取りまとめて作成し提出す

記帳に基づく 正しい申告を

商売などをしていての方が、自分の所得を正確に計算するためには、毎日の取引をきちんと記帳し、保存しておくことが必要です。

記帳にも簡単なものから、各種の帳簿を備えた高度なものまでいろいろありますが、定められた簡易帳簿など一定水準以上の記帳をし、その記帳に基づいて正しい申告をする場合には、所得の計算上有利な取扱いが受けられる青色申告の制度が設けられています。

青色申告をすることができるとは、事業所得、不動産所得、山林所得のある方です。

また、青色申告をしていない方で事業所得等(事業所得、不動産所得及び山林所得)があり、一定の条件にあてはまる方は、記帳や記録の保存などをしなければなりません。

※税の申告に関し、不明の点や詳しいことについては、税務課(☎五九―二三三〇)か長岡税務署(☎三五―二〇七〇)へお問い合わせください。

スキー教室開催 (一般対象)

- 1月22日(日)種彦原スキー場 午後1時30分～
 - 2月4日(日)焼山スキー場 午後1時30分～(午後バジテスト有)
 - 2月26日(日)種彦原スキー場 午前9時30分～(午後バジテスト有)
 - 4月2日(日)焼山スキー場 午前9時30分～(午後バジテスト有)
 - 3月5日(日) 村民スキー大会
- ※スキー教室開催時間は、およそ2時間程度です。全日本スキー連盟有資格指導員が、親切に指導いたします。多数ご参加ください。